
「新編 新しい社会」
複式年間指導計画作成資料
【5年・6年】

令和 6 年 (2024 年) 1 月版

※単元ごとの配当時数などは、今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

複式学級における社会科の指導では、両学年がいっしょに学習できる同教材同内容指導が有効だと考えられる。また、現実的にも同教材同内容指導を行っている学校が多いのが実態であろう。

以下では、同教材同内容指導に対応した A・B 年度方式による年間指導計画を念頭に置きながら、その類型と具体案についてふれる。

【A・B 年度方式による社会科複式年間指導計画の基本類型】

I 【内容別配列型】

A 年度	B 年度
下学年単元 (1)	下学年単元 (2)
下学年単元 (3)	上学期単元 (1)
上学期単元 (2)	上学期単元 (3)

<特色>○各年度のなかでの順序性に問題が生じにくく、1 単元にじっくりと取り組むことができる。

△B 年度からスタートする学年では、単元の学習順が逆転する場合が多くなる。また、転出入などの場合に対応しにくい。

II 【単純 2 分割型】

A 年度	B 年度
下学年単元 (1) -①	下学年単元 (1) -②
下学年単元 (2) -①	下学年単元 (2) -②
下学年単元 (3) -①	下学年単元 (3) -②
上学期単元 (1) -①	上学期単元 (1) -②
上学期単元 (2) -①	上学期単元 (2) -②
上学期単元 (3) -①	上学期単元 (3) -②

<特色>○各年度とも順序性や発展性に問題が生じにくい。転出入に関しては最も対応しやすい。

△単元数が多く細切れの学習となり、じっくりと取り組みにくい。

III 【一部単元分割型】

A 年度	B 年度
下学年単元 (1) -①	下学年単元 (1) -②
下学年単元 (2)	下学年単元 (3)
上学期単元 (1)	上学期単元 (2)
上学期単元 (3) -①	上学期単元 (3) -②

<特色>○順序性に問題が生じにくく、じっくりと取り組める単元も多くなる。

△分割する単元とまとめて扱う単元とを綿密に検討して配当することが必要になる。

IV 【学年別固定型】

A 年度	B 年度
下学年の内容	上学期の内容

<特色>○各年度での内容の系統性、発展性などの問題は生じない。

△隔年で上学期の内容を先に学習する学年が出る。その場合の学習負担は大きい。

A・B 年度方式において単元を配当していくにあたっては、

①学習指導要領の内容あるいは教科書の単元を分割して扱うかどうか

②各学年の内容のバランスをどうするか

という 2 つの観点から整理すると、上記の 4 つの型に類型化することができる。

○基本類型に対応した年間指導計画例

I 【内容別配列型】

A 年度			B 年度		
月	○単元 ・ 小単元	指導要領	月	○単元 ・ 小単元	指導要領
4月 ⑥	○わたしたちの生活と政治(19) ・オリエンテーション① ・わたしたちの暮らしと日本国憲法⑦ ・国の政治のしくみと選挙⑤ ・子育て支援の願いを実現する政治／震災復興の願いを実現する政治⑤ ・いかす①	6 (1)	4月 ⑧	○わたしたちの国土(20) ・オリエンテーション① ・世界の中の国土④ ・国土の地形の特色③ ・低い土地の暮らし／高い土地の暮らし⑤ ・国土の気候の特色③ ・あたたかい土地の暮らし／寒い土地の暮らし④	5 (1)
5月 ⑨	○わたしたちの生活と食料生産(25) ・オリエンテーション① ・暮らしを支える食料生産④ ・米づくりのさかんな地域⑧	5 (2)	5月 ⑩	○日本の歴史(72) ・オリエンテーション② ・縄文のむらから古墳のくにへ⑦ ・天皇中心の国づくり⑥ ・貴族の暮らし③	6 (2)
6月 ⑪			6月 ⑪		
7月 ⑥			7月 ⑨		
9月 ⑨	・水産業のさかんな地域⑦ ・これから食料生産とわたしたち④ ・いかす①		9月 ⑩	・武士の世の中へ⑥ ・今に伝わる室町文化③ ・戦国の世から天下統一へ⑥	
10月 ⑪	○わたしたちの生活と工業生産(21) ・オリエンテーション① ・暮らしを支える工業生産③ ・自動車をつくる工業⑦ ・工業生産を支える運輸と貿易⑤ ・これから工業生産とわたしたち④ ・いかす①	5 (3)	10月 ⑬	・江戸幕府と政治の安定⑥ ・町人の文化と新しい学問⑤ ・明治の国づくりを進めた人々⑦ ・世界に歩み出した日本⑥ ・長く続いた戦争と人々の暮らし⑦	
11月 ⑫			11月 ⑬		
12月 ⑧	○情報化した社会と産業の発展(15) ・オリエンテーション① ・情報産業とわたしたちの暮らし⑥	5 (4)	12月 ⑩		
1月 ⑦	・情報を生かす産業⑤ ・情報を生かすわたしたち② ・いかす①		1月 ⑨	・新しい日本、平和な日本へ⑦ ・いかす①	
2月 ⑨	○世界の中の日本(14) ・オリエンテーション① ・日本とつながりの深い国々⑦ ・世界の未来と日本の役割⑤ ・いかす①	6 (3)	2月 ⑩	○わたしたちの生活と環境(19) ・オリエンテーション① ・自然災害を防ぐ⑥ ・わたしたちの生活と森林⑥ ・環境を守るわたしたち⑤ ・いかす①	5 (5)
3月 ⑥			3月 ⑧		
計 94 時間			計 111 時間		

単元を分割せず、両年度に配分した案である。年度の約7割の時数を占める歴史単元があるため、単元分割せず両学年の内容を振り分けること自体に困難がともなう。本案も単元を分割せずに、各単元の時数をふまえて両年度に配分したのみで、内容別配列型の利点である内容の発展性への配慮を実現できているとは言いがたい。また、学期ごとの配当時数がアンバランスで、時間割の編成は柔軟に行う必要がある。実態として最も多く行われている学年別固定型をこえるメリットは見いだしにくい。

II 【単純2分割型】

A 年度			B 年度		
月	○単元・小単元	指導要領	月	○単元・小単元	指導要領
4月 ⑥	○わたしたちの国土(5) ・オリエンテーション① ・世界の中の国土④	5 (1) ①	4月 ⑦	○わたしたちの国土(15) ・国土の地形の特色③ ・低い土地のくらし／高い土地のくらし⑤ ・国土の気候の特色③ ・あたたかい土地のくらし／寒い土地のくらし④	5 (1) ②
5月 ⑧	○わたしたちの生活と食料生産(13) ・オリエンテーション① ・くらしを支える食料生産④ ・米づくりのさかんな地域⑧	5 (2) ①	5月 ⑨	○わたしたちの生活と食料生産(12) ・水産業のさかんな地域⑦ ・これから食料生産とわたしたち④ ・いかす①	5 (2) ②
6月 ⑨	○わたしたちの生活と政治(11) ・国の政治のしくみと選挙⑤ ・子育て支援の願いを実現する政治／震災復興の願いを実現する政治⑤ ・いかす①	6 (1) ②	6月 ⑪	○わたしたちの生活と政治(8) ・オリエンテーション① ・わたしたちのくらしと日本国憲法⑦	6 (1) ①
7月 ⑩			7月 ⑫		
9月 ⑪	○日本の歴史(18) ・オリエンテーション② ・縄文のむらから古墳のくにへ⑦ ・天皇中心の国づくり⑥ ・貴族のくらし③	6 (2) ①	9月 ⑩	○日本の歴史(26) ・武士の世の中へ⑥ ・今に伝わる室町文化③ ・戦国の世から天下統一へ⑥ ・江戸幕府と政治の安定⑥ ・町人の文化と新しい学問⑤	6 (2) ②
10月 ⑬	○わたしたちの生活と工業生産(10) ・工業生産を支える運輸と貿易⑤ ・これからの工業生産とわたしたち④ ・いかす①	5 (3) ②	10月 ⑯		
11月 ⑭	○情報化した社会と産業の発展(7) ・オリエンテーション① ・情報産業とわたしたちのくらし⑥	5 (4) ①	11月 ⑯	○わたしたちの生活と工業生産(11) ・オリエンテーション① ・くらしを支える工業生産③ ・自動車をつくる工業⑦	5 (3) ①
12月 ⑮	○日本の歴史(28) ・明治の国づくりを進めた人々⑦ ・世界に歩み出した日本⑥	6 (2) ③	12月 ⑯	○情報化した社会と産業の発展(8) ・情報を生かす産業⑤ ・情報を生かすわたしたち② ・いかす①	5 (4) ②
1月 ⑯	・長く続いた戦争と人々のくらし⑦ ・新しい日本、平和な日本へ⑦ ・いかす①		1月 ⑯	○わたしたちの生活と環境(12) ・わたしたちの生活と森林⑥ ・環境を守るわたしたち⑤ ・いかす①	5 (5) ②
2月 ⑰	○わたしたちの生活と環境(7) ・オリエンテーション① ・自然災害を防ぐ⑥	5 (5) ①	2月 ⑯	○世界の中の日本(8) ・オリエンテーション① ・日本とつながりの深い国々⑦	6 (3) ①
3月 ⑱	○世界の中の日本(6) ・世界の未来と日本の役割⑤ ・いかす①	6 (3) ②	3月 ⑯		
計 105 時間			計 100 時間		

歴史単元を含め、すべての単元を両年度に分割して配分した案である。両年度ともに第5学年の内容から学習をスタートし、国際単元で終えることができ、入口と出口に問題はない。標準時数を大きく変更しなくても学期の区切りに合わせた指導計画を立てやすい長所がある。

しかし、両年度とも、単元数が多く細切れの学習となり、深く追究する学習になりにくい。また、特に歴史単元では学習の順序性、発展性に問題がある。

III 【一部単元分割型】

A 年度			B 年度		
月	○単元・小単元	指導要領	月	○単元・小単元	指導要領
4月 ⑥	○わたしたちの国土(20) ・オリエンテーション① ・世界の中の国土④ ・国土の地形の特色③ ・低い土地のくらし／高い土地のくらし⑤ ・国土の気候の特色③ ・あたたかい土地のくらし／寒い土地のくらし④	5 (1)	4月 ⑥	○わたしたちの生活と食料生産(12) ・水産業のさかんな地域⑦ ・これから食料生産とわたしたち④ ・いかす①	5 (2) ②
5月 ⑩			5月 ⑩	○わたしたちの生活と政治(19) ・オリエンテーション① ・わたしたちのくらしと日本国憲法⑦ ・国の政治のしくみと選挙⑤ ・子育て支援の願いを実現する政治／震災復興の願いを実現する政治⑤ ・いかす①	6 (1)
6月 ⑩			6月 ⑪	○わたしたちの生活と工業生産(4) ・オリエンテーション① ・くらしを支える工業生産③	
7月 ⑦	○わたしたちの生活と食料生産(13) ・オリエンテーション① ・くらしを支える食料生産④ ・米づくりのさかんな地域⑧	5 (2) ①	7月 ⑧		5 (3) ①
9月 ⑪	○日本の歴史(27) ・オリエンテーション② ・縄文のむらから古墳のくにへ⑦ ・天皇中心の国づくり⑥ ・貴族のくらし③ ・武士の世の中へ⑥ ・今に伝わる室町文化③	6 (2) ①	9月 ⑨	○日本の歴史(17) ・戦国の世から天下統一へ⑥ ・江戸幕府と政治の安定⑥ ・町人の文化と新しい学問⑤	6 (2) ②
10月 ⑫			10月 ⑪	○情報化した社会と産業の発展(15) ・オリエンテーション① ・情報産業とわたしたちのくらし⑥ ・情報を生かす産業⑤ ・情報を生かすわたしたち② ・いかす①	5 (4)
11月 ⑫	○わたしたちの生活と工業生産(17) ・自動車をつくる工業⑦ ・工業生産を支える運輸と貿易⑤ ・これから工業生産とわたしたち④ ・いかす①	5 (3) ②	11月 ⑪	○わたしたちの生活と環境(19) ・オリエンテーション① ・自然災害を防ぐ⑥	5 (5)
12月 ⑨			12月 ⑧		
1月 ⑨	○日本の歴史(28) ・明治の国づくりを進めた人々⑦ ・世界に歩み出した日本⑥ ・長く続いた戦争と人々のくらし⑦ ・新しい日本、平和な日本へ⑦ ・いかす①	6 (2) ③	1月 ⑧	・わたしたちの生活と森林⑥ ・環境を守るわたしたち⑤ ・いかす①	
2月 ⑫			2月 ⑪	○世界の中の日本(14) ・オリエンテーション① ・日本とつながりの深い国々⑦ ・世界の未来と日本の役割⑤ ・いかす①	6 (3)
3月 ⑦			3月 ⑦		
計 105 時間			計 100 時間		

第5学年の食料生産、工業生産の単元と、第6学年の歴史単元を分割し両年度に配当した案である。細切れな単元は少なく、ある程度深まりのある学習が期待できる。歴史単元の順序性、発展性の問題を除けば、比較的バランスのとれた案であるといえる。

IV 【学年別固定型】

A 年度			B 年度		
月	○単元・小単元	指導要領	月	○単元・小単元	指導要領
4月 ⑥	○わたしたちの国土(20) ・オリエンテーション① ・世界の中の国土④	5 (1)	4月 ⑥	○わたしたちの生活と政治(19) ・オリエンテーション① ・わたしたちの暮らしと日本国憲法⑦	6 (1)
5月 ⑨	・国土の地形の特色③ ・低い土地の暮らし／高い土地の暮らし⑤ ・国土の気候の特色③		5月 ⑨	・国の政治のしくみと選挙⑤ ・子育て支援の願いを実現する政治／震災復興の願いを実現する政治⑤	
6月 ⑪	・あたたかい土地の暮らし／寒い土地の暮らし④		6月 ⑪	・いかす①	
7月 ⑦	○わたしたちの生活と食料生産(25) ・オリエンテーション① ・暮らしを支える食料生産④ ・米づくりのさかんな地域⑧	5 (2)	7月 ⑧	○日本の歴史(72) ・オリエンテーション② ・縄文のむらから古墳のくにへ⑦ ・天皇中心の国づくり⑥	6 (2)
9月 ⑨	・水産業のさかんな地域⑦ ・これから食料生産とわたしたち④ ・いかす①		9月 ⑨	・貴族の暮らし③ ・武士の世の中へ⑥	
10月 ⑪	○わたしたちの生活と工業生産(21) ・オリエンテーション① ・暮らしを支える工業生産③ ・自動車をつくる工業⑦	5 (3)	10月 ⑫	・今に伝わる室町文化③ ・戦国の世から天下統一へ⑥	
11月 ⑫	・工業生産を支える運輸と貿易⑤ ・これから工業生産とわたしたち④ ・いかす①		11月 ⑫	・江戸幕府と政治の安定⑥ ・町人の文化と新しい学問⑤	
12月 ⑧	○情報化した社会と産業の発展(15) ・オリエンテーション① ・情報産業とわたしたちの暮らし⑥	5 (4)	12月 ⑨	・明治の国づくりを進めた人々⑦ ・世界に歩み出した日本⑥	
1月 ⑨	・情報を生かす産業⑤ ・情報を生かすわたしたち② ・いかす①		1月 ⑨	・長く続いた戦争と人々の暮らし⑦ ・新しい日本、平和な日本へ⑦ ・いかす①	
2月 ⑫	○わたしたちの生活と環境(19) ・オリエンテーション① ・自然災害を防ぐ⑥ ・わたしたちの生活と森林⑥ ・環境を守るわたしたち⑤ ・いかす①	5 (5)	2月 ⑫	○世界の中の日本(14) ・オリエンテーション① ・日本とつながりの深い国々⑦ ・世界の未来と日本の役割⑤ ・いかす①	6 (3)
3月 ⑥			3月 ⑧		
計 100 時間			計 105 時間		

第5学年の内容をA年度、第6学年の内容をB年度にそのまま振り分けた案である。両年度ともに内容の系統性・発展性にそって学習できる利点がある。

B年度の5年生に第6学年の内容を指導していくことになるので、負担が大きく、特に細かい配慮が必要である。

実際にこの計画を採用している学校が多いと思われる。